

第4回 重信川流域合同水防工法訓練 実施概要

1. 目的

重信川は、3市2町にまたがり想定氾濫区域内人口24万人を有する一級河川であり、地域において極めて重要な河川である。国による河川改修は、昭和20年に着手し、現在の堤防整備率は約99%の進捗率である。しかしながら、霞堤が9箇所存在し、内5箇所では住家浸水の可能性があるとともに、急流河川という特性から局所的な深掘れによる護岸崩壊が頻発している。また、堤防漏水の危険性が高い。

各市町においては従来から水防活動が行われてきているが、最近の我国の災害発生傾向からも益々重要になっている。

そこで、国・県・市町間の連携協力、水防技術の向上を目的に、国、県、市町、水防団、自主防災組織等による3市2町合同の水防工法訓練を行うものである。

2. 開催

3市2町（松山市・伊予市・東温市・松前町・砥部町）、愛媛県、国土交通省松山河川国道事務所が連携して毎年出水期前に行うものとする。

3. 開催場所

開催場所については、重信川本川高水敷・堤防を使用し、沿川の4市町持ち回りとする。

（第1回）平成20年度：	松前町	H. 20. 5. 18（日）
（第2回）平成21年度：	東温市	H. 21. 5. 31（日）
	平成22年度：	重信川水防演習 H. 22. 5. 23（日）
（第3回）平成23年度：	砥部町	H. 23. 5. 22（日）
（第4回）平成24年度：	松山市	H. 24. 5. 27（日）

4. 主催

重信川・石手川水防等連絡会（国・県・市町・愛媛県警察本部、所轄警察署・消防局等、関係機関で構成）

5. 事務局

開催地市町（松山市）、松山河川国道事務所

6. 平成24年度の予定

- 1) 実施日時 5月27日（日）9:00～11:00
- 2) 実施場所 重信川右岸 8k/O付近 河川敷（松山市井門町地先）
- 3) 参加対象者 総勢500名程度
 - ・開催地消防団（松山市）
 - ・流域消防団（他4市町）
 - ・自主防災組織（開催地ほか）
 - ・愛媛大学防災情報研究センター
 - ・愛媛県中予地方局、愛媛県河川課
 - ・国土交通省松山河川国道事務所
 - ・国土交通省四国山地砂防事務所
 - ・愛媛県警察本部、所轄警察署
 - ・防災エキスパート
- 4) 訓練内容
 - 準備工
 - ・ロープワーク
 - ・土のう作り
 - 洗掘対策
 - ・木流し工法
 - ・シート張り工法
 - 漏水対策
 - ・月ノ輪工法
 - 越水対策
 - ・改良積土のう工法
 - ・改良積土のう工法（Ⅱ型 都市型）
- 5) その他
雨天決行します。
（大雨洪水警報発令、台風接近等で災害発生の恐れがある場合には中止）

訓練次第

◇日時：平成24年5月27日(日) 9時00分～11時00分

◇場所：重信川右岸8k/0付近河川敷（松山市井門町地先）

		◇司会者：松山市職員
1	開会 (1) 挨拶 松山市長	◇訓練総括指揮者：松山市消防団長 集合指示 ◇開催地市町長
	国土交通省四国地方整備局 河川部長	◇本局
	(2) 参加機関代表者および 水防工法指導講師 紹介	◇司会者：紹介
2	工法訓練実施	
	(1) 準備工 ・ロープワーク ・土のう作り	◇訓練総括指揮者：松山市消防団長 各工法の着手、終了指示
	(2) 法崩れ対策工 ・シート張り工 ・木流し工	◇工法指導は各班長 エキスパート、国交省は工法の 作業確認
	(3) 漏水対策工 ・月の輪工	
	(4) 越水対策工 ・改良積み土のう工 ・改良積み土のう工（Ⅱ型）	
3	閉会 (1) 講評 国土交通省 四国地方整備局 松山河川国道事務所長	◇訓練総括指揮者：松山市消防団長 集合指示
	(2) 閉会挨拶 松前町長	◇次期開催地市町長 ◇訓練総括指揮者：松山市消防団長 解散、片付け指示

